

重要物資の国際比価 (32年1月末現在)

第1表

(注) 括弧内は前月比騰落

品 目	単位	区 分	日 本		米 国	英 国	そ の 他		
			邦 貨 建	外 貨 建					
織 維	綿糸(20番手)	封度	M	¥ 196.9	¢ 54.7(-0.3)	¢ 66.0~67.0 (+2.0)	¢	¢ ホンコン 42.6(-0.2)	
			E	189.0	52.5(-0.5)		¢ 62.3(0)	¢ イタリア 57.3(+2.1)	
	綿織物(2003)	碼	M	56.25	15.6(+0.6~+0.7)	16.9(+0.4)		ホンコン 14.5(+0.3)	
			E	51.8	14.4(+0.4)	86.0(0)	62.9(0)	イタリア 82.4(0)	
	人絹糸(ビス120D)	封度	M	227.5	63.2(-6.2)				
			E	187.2	52.0(-0)	76.1(+0.7)	61.0(0)		
スフ糸(30番手)	"	M	135.0	37.5(-0.4)					
		E	151.2	42.0(+2.0)					
鉄	銑鉄(鋳物用2号)	屯	Q	31,000	\$ 86.1(0)	\$ 61.8(-0.2)	\$ 50.0(0)	ベルギー 72.0(0) フランス 63.0(+3.5)	
			E	47,700	132.5(0)	111.9(0)	97.7(0)	西ドイツ 95.0(0)	
	棒鋼(19ミリ)	"	M	66,000	183.3(-2.8)			ベルギー 163.0(0) イギリス 118.0(0)	
			E	61,500	170.8(0)	123.2(0)		フランス 116.0(+2.0)~120.0(+4.0)	
鋼	厚板(12ミリ)	"	Q	54,700	181.9(0)	107.3(0)	104.1(0)	西ドイツ 117.0(0) ベルギー 120.0(0)	
	薄板(1.6ミリ)	"	Q	62,700	174.2(0)	103.0(0)	110.1(0)	西ドイツ 147.5(0) フランス 153.8(0)	
非鉄金属	電気銅	封度	Q	154	¢ 42.9(0)	¢ 36.0(0)	¢	¢ ベルギー 34.0(-0.5)	
			M	195	54.2(-8.8)	30.6(-2.4)	31.6(-2.4)		
	電気亜鉛	"	Q	64	17.9(0)	15.8(0)	M14.4(-0.4)	Mメキシコ 14.3(-0.3)	
			E	50~59	14.0~16.4(0)	13.5(0)	M13.0(0)	Mメキシコ 12.0(-0.3)	
	錫地金	"	M	377	104.6(-5.1)	102.4(+2.9)	99.7(-0.1)	シンガポール 94.2(-1.1)	
			Q	91~100	25.2~27.7(0)	27.1(0)	24.6(0)	カナダ 25.5(+1.0)	
鋳業	セメント	屯	M	6,500	\$ 18.1(+0.3)	\$ 21.0~23.5(0)	\$	\$ 西ドイツ 16.5(0) フランス 15.8(0)	
			E	6,300~6,840	17.5~19.0(0)		14.0(0)	西ドイツ 13.5~14.5(0)	
化学製品	硫酸(安苛性ソーダ(固型)レーヨンパルプ)	屯	E	20,936	58.2(-0.3)	38-40(-3.0)	83.0(+3.0)	西ドイツ 45.0(-4.0) イタリア 49.0(-1.0)	
			M	48,000	133.3(+5.5)	85.0(+3.0)			
			Q	80,799~81,571	224.4~226.6(0)	CIF 209.0(0)		カナダ CIF 200.0(0)	
動植物製品	大豆原油	ドラム	M	28,000	¢ 77.8(+1.4)	¢ 57.0(+5.0)	¢ 60.0(+1.0)		
			封度	M	108	¢ 30.0(-5.8)	¢ 31.5(-5.3)	¢ 31.4(-5.9)	¢ シンガポール 28.4(-6.2)
			原皮(牛)	"	81	22.5(-0.5)	14.5(0)		
燃料	石炭(粘結炭)	屯	M	7,050	\$ 19.6(0)	\$ 12.9(0)	\$	\$ フランス 25.5(0)	
			M	13,150	36.5(+6.1)	C&F 34.4(0)			
	重油(C)	坪			20.2(0)				

備考

- 区分欄、Qは建値、Mは市中価格、Eは輸出価格。
- 織 維
 - 海外価格はロイター電による。
 - ホンコン綿布は2003番相当のもの。
 - 人絹糸海外価格は150D価格を採用(わが国での150Dの生産取引はきん少)
 - 英国のスフ糸は36番手単糸綿紡式によるもの。
 - 前月の米国スフ糸価格は75.4セントに訂正。
- 鉄 鋼
 - 日本のQ(生産者価格)は銑鉄では富士製鉄2月積建値、鋼材では八幡製鉄3.4月積建値より全国平均運賃銑鉄1,000円、鋼材1,300円をそれぞれ差引いて算出。
 - 海外は銑鉄
 - ベルギー 鋳物用高磷銑鉄ミユツソン(基準地)渡し
 - フランス " ロングイ(") "
 - 英 国 ベーシック銑
 - 英国は公示価格よりわが国同様運賃を差引いて算出。
 - 米国はU.S スチール社発表値。
 - 西ドイツは公示価格から取引税4%を差引いた。
 - 厚板は米国、英国9~38ミリ、フラン加盟国9.5~25ミリ。ベルギーはトーマス鋼。
- 非鉄金属
 - アルミの国内建値は精錬業者販売価格。
 - 亜鉛、アルミ国内建値の安値は輸出原材料向け特価。
- セメント
 - フランスは包装代を含まない。
- 化学製品
 - 硫酸海外価格は1月中(ギリシャ)入札価格による。
 - 苛性ソーダはアンモニア法製品価格。
 - レーヨンパルプ国内価格は1~6月期建値。海外価格はCIF外国船積価格。
- 動植物製品
 - 生ゴムの英相場はRSS1号。
 - 米国原皮銜酒パッカーズライト紐育現物相場、国内相場は取引単位が枚数のため概算。
- 燃 料
 - 石炭一内外とも約 8,000 cal 国内炭は本州特定製鋼所向け31年度下期直売炭。
 - 重油の海外価格—米国はニューヨークタンク車価格、フランスは重質 No.2 精製工場渡し、わが国は大手船鉄鋼メーカーの購入価格。

海外価格を100とするわが国価格指数の推移

(注) 備考は第1表に準ず。卸売物価指数は昭和25年6月基準指数の比較。

第2表

品目	区分	基準国	28年9月	29年9月	30年9月	31年9月	31年10月	31年11月	31年12月	32年1月
綿糸	M	米	105.3	90.5	83.9	91.2	83.8	87.5	84.6	81.6
綿織物	M	"	102.5	86.2	84.8	~92.7	~85.2	~88.9	~85.9	~82.9
人絹糸	M	イタリヤ	91.9	66.7	65.5	93.3	96.4	92.7	90.3	~92.3
スフ糸	M	英	74.2	57.5	59.7	90.3	83.3	88.0	~90.9	84.2
棒鋼	Q	ベルギー	117.2	89.4	108.6	66.2	62.0	63.8	62.1	61.5
厚板	Q	西ドイツ	107.1	91.2	108.3	120.4	120.4	128.6	128.6	128.6
電気銅	Q	米	135.0	126.9	102.0	128.6	120.3	129.8	129.8	129.8
硫酸	E	西ドイツ	135.0	126.9	102.0	116.5	129.4	119.2	119.2	119.2
苛性ソーダ	M	英	126.2	118.4	115.1	117.0	124.5	124.5	119.4	129.3
レーヨンパルプ	Q	カナダ	179.1	136.9	134.1	162.1	163.8	161.8	159.8	160.6
大豆原油	M	米	123.4	116.8	115.4	112.2	112.2	112.2	112.2	112.2
生ゴム	M	シンガポール	123.4	116.8	115.4	~113.3	~113.3	~113.3	~113.3	~113.3
原皮	M	米	121.0	182.9	185.3	148.3	151.1	148.2	146.9	~136.5
卸売物価指数	}	米	115.1	115.0	110.9	100.7	104.6	102.8	103.5	105.6
		米	172.3	149.4	138.9	124.6	133.1	138.8	158.6	155.2
		西ドイツ	141.0	136.0	133.4	~136.3	~146.9	~153.1	~170.4	—
		米	130.8	126.1	122.5	138.5	137.9	138.9	139.9	—
		西ドイツ	130.8	126.1	122.5	129.1	127.8	128.0	130.0	—

解 説

1月中の海外市況は、総じて落着き模様に移した。すなわち、綿花や砂糖が引き続き強調、石油、石炭などが強保合いを示したが、中東動乱後の国際的緊迫感が薄れるに伴って、小麦、原皮、電気銅、鉛、錫、アルミなど統落歩調をたどつた商品が多く、また海上運賃のうちタンカーレートもわずかながら下押しした。このような市況を反映して、英国ロイター、米国ダウジョーンズ両国際商品相場は前月に引き続き、それぞれ1.1%、2.4%の下落をみせた。

一方、わが国では輸入順調の鉄鋼および電気銅、荷動き閑散の繊維、需要一巡の錫などが軟化した反面、重油、石炭は渇水による火力発電向け需要増を主因に堅調をたどり、苛性ソーダ、セメントも強含みに推移、卸売物価指数は月中0.3%の統勝をみせた。このような内外の市況から、国際比価はおおむね前月に引き続き悪化の傾向にうかがわれたが、商品別では繊維、鉄鋼、電気銅、油脂など若干改善されたものもみられた。

(1) 繊維 国内の繊維市況は、旧正月控えから機屋の手当買い少なく荷動き閑散、綿糸、人絹糸とも軟調商状。ことに人絹糸は期待された東南ア向け織物輸出が頭打ちのため、産地滞貨が漸増して市況軟化を拍車した。ただ綿織物は、年末内外需の好調から相場は堅調を示し、市況も底固い。

一方、海外は香港綿糸の微落をのぞき概して強含みに推移、この結果、国際比価関係は、わが国の値下りを主因に総じて割安幅を拡大した。なお、国内価格と輸出価格との

隔差は綿糸、綿織物など、わずかに拡大したものもあつたが、人絹糸についてはかなりの縮小をみせた。

(2) 鉄鋼 米国の鉄鋼市況は、自動車生産の一服から製鋼操業率がやや低下したため、くず鉄価格が前月比6ドル(トン当り)の下落を示した。しかし鋼材については、貨車、タンカーの建造、油井管需要などが引き続き増加歩調にあるため、相場は堅調に移した。欧州でも需要活発で、フランスの銑鉄価格が約8%値上げされたほか、オランダ、スウェーデンなどの国内価格も微騰、または共同体加盟国の輸出実勢価格もシリ高(棒鋼で2ドル上昇)をみせた。

なお、西欧諸国の鉄鋼生産高は、昨年10月スエズ紛争以降軒並みやや低下を示した。これは燃料不足を主因とするものであるが、他方、本年(1~3月)の欧州経済発展のテンポが鈍化するとの見方が作用していることも見のがしてはなるまい。

この間、わが国では緊急輸入鋼材が順調に入手をみせている一方、鋼材プールあつた旋機関の割当増もあつて、市況は引き続き軟調模様を呈した。建値はすえ置であつたが、平炉、伸鉄メーカーの販売価格はトン当り1,000円~2,000円程度の値下りを示し、また、市中相場も総じて下押しをみせた。このような内外市況を反映、国際比価は従来の割高幅をやや縮小した。

(3) 非鉄 国際政局の落着きとともに、前月反落に転じた海外市況は、世界的供給過剰傾向の強い銅を中心として引き続き軟化、亜鉛、アルミなど一部に下げ渡りをみせたものもあつたが、総じて基調は弱含み。これに対しわが

国は、銅、錫など下落をみせたものもあつたが、亜鉛、鉛、アルミは電力制限による減産気配が濃化して、市中価格は強含み（建値はすえ置）に推移した。

このため国際比価は、銅、錫など若干割高幅を縮小する反面、亜鉛、鉛、アルミの比価は引き続き悪化の傾向がみられた。

(4) **その他の商品** 大豆油は欧州の寒害、フレートの強調などから内外ともに堅調ながら海外の騰貴幅が大きく、また原皮は国内が需要一巡から反落に転じたため、国

際比価はそれぞれわずかながら割高幅を縮小した。またレヨンパルプは内外ともに保合い、生ゴムはともに下落したため、比価関係に格別の変化はみられない。しかし、化学工業基礎資材として需要漸増の苛性ソーダは、わが国の値上り幅が大きく、また硫安は海外の副成硫安が低落傾向にあるため、比価関係は悪化した。

さらに、セメントは海外が保合いにかかわらず、わが国ではスエズ動乱以来の輸出活況に支えられてジリ高に推移しているため、引き続き割高を強めた。

日 誌 (昭和 32 年 1 月)

国 内

- 11日 ○本行、連合王国通貨表示外国為替引当貸付利率引下げ実施(現行日歩1銭3厘を1銭2厘5毛へ)
- 16日 ○繊維輸出会議(米国市場問題特別委員会)、昭和32年度以降における綿製品の対米輸出自主規制措置を決定
- 17日 ○東京銀行協会、特殊不渡届取扱規程の改正を決定(2月15日から実施)
- 18日 ○政府、米国の第3次余剰農産物受入辞退を正式決定
- 20日 ○政府、昭和32年度防衛関係費の対米折衝妥結(1,411億円)
- 21日 ○甲種為替銀行11行、貿易商社に対する保有外貨買

取資金最低貸出利率の引上げ実施(現行日歩1銭8厘を2銭へ)

- 23日 ○金融制度調査会、金融機関の預金者保護制度の創設を政府に答申
- 24日 ○政府、ブラジル国との貿易および支払に関する暫定協定を本協定締結まで延長することに決定(とりあえず暫定協定期限を4月30日まで延長)
- 25日 ○本行、ドイツ連邦共和国通貨表示外国為替引当貸付利率の引下げ実施(現行1銭3厘5毛を1銭2厘5毛へ)
- 26日 ○政府、昭和32年度政府予算案を閣議決定
- 30日 ○第26通常国会再開

海 外

- 3日 ○米第85議会開会
- 4日 ○中共・ユーゴー貿易支払協定調印(北京で)
- 5日 ○アイゼンハワー大統領、中東問題に関する特別教書を議会に提出
○ハンガリー政府新政策を発表
- 8日 ○国連政治委員会、韓国の自由選挙を骨子とする米提案可決
- 9日 ○イーデン英首相辞職
- 10日 ○アイゼンハワー大統領、一般教書を議会に提出
○マクミラン英首相就任
- 11日 ○西ドイツ、公定歩合を従来の5%から4.5%へ引下げ
- 15日 ○エジプト、外国銀行、保険会社などの国有化(英仏系は即時)を宣言
- 16日 ○アイゼンハワー大統領、予算教書を議会に提出
○豪州、輸入制限措置の緩和を発表
- 19日 ○アラブ4か国(エジプト、サウジアラビア、シリア、ヨルダン)首脳会談、対ヨルダン援助協定に

調 印

- 21日 ○アイゼンハワー、第2期大統領に就任
- 22日 ○アイゼンハワー大統領、日本の別診関税率引上げに関する関税委員会勧告を拒否
○インド・パキスタン貿易協定調印
- 23日 ○アイゼンハワー大統領、年頭経済報告を議会に提出
○ハリス・カナダ蔵相、新会計年度予算案を下院に提出
○韓国の為替レート(500対1ドル)を本年末まで維持するための米・韓協定調印(ワシントン)
- 26日 ○共同市場に関する6か国外相会議開催
○インド併合を定めたカシミール新憲法発効
- 30日 ○アルゼンチン政府、賃金凍結令を発表
- 31日 ○アイゼンハワー大統領、移民問題に関する特別教書を議会に提出
○米・韓余剰農産物協定調印(ワシントン)